

# 『学ぶ意欲』こそが、

## 自分の可能性を高める

### 宇陀市の子どもの力を高める

宇陀市では、平成28年3月に「宇陀市教育大綱」を策定し、その基本目標の一つである、「確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身」を重点目標に取り組んでいます。教育委員会ではこの重点目標を、「学校・家庭・地域」の連携をより一層深め、子どもたちを見守り育てる教育環境づくりを進めながら実現を目指しています。信頼される学校づくりを進めていくためには、保護者や地域に、学校の努力と子どもの姿・変容を具体的に示しながら、理解と協力を求めていくことが必要であると考え、今回各学校の特色ある取組を紹介させていただきます。



さて、宇陀市教育委員会では子どもたちの姿をいくつかの指標で捉えながら力をつけるべく取り組んでいます。平成28年度全国学力・学習状況調査の正答率は、中学校3年生の「数学（知識）」は全国平均をやや上回る一方で、全体的に全国平均同等またはやや下回る状況です。「国語の勉強が好き」という項目については、小・中学校とも前年度に比べて全国平均を上回ります。「算数（数学）の勉強が好き」という項目については、小学校6年生が前年度を上回り全国平均とほぼ同じですが、中学校3年生では全国平均を下回る状況で、意欲の向上を課題と認識しています。

「学校のきまりを守っている」「いじめはいけない」等の「規範意識」については、小・中学校とも近年全国との差が縮まってきた中で、小学校では全国平均を上回ってきています。一方「自分には良いところがある」等の「自尊感情」についての項目は、前年度に比べて小・中学校ともに全国平均との差が広がっており、課題であると考えています。



宇陀市教育長 福田裕光

全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、宇陀市では調査対象中学校2年生が前年度よりやや向上し全国平均を上回り、調査対象小学校5年生も前年度より向上し全国平均と並んでいます。市内全幼・保・こども園も体力が向上する傾向にあり、県平均を上回っています。各学校・園・所の継続的な取組が実を結び始めていると考えています。

### 鍵は「学ぶ意欲」にある

現在の宇陀市の子どもの一面を一部指標から見えてきましたが、それらとともに、私が大切だと考えるのは子どもの「学ぶ意欲」を高めることです。

歴史家エドワード・ギボンズは、「誰でも二つの教育を持っている。一つは他人から受ける教育である。もう一つはもつと大事なものであるが、自分が自分に与える教育である。」という言葉を残しています。次代を担う本市の子どものための「自分が自分に与える教育」の源となる



のが「学ぶ意欲」だと考えます。「学ぶ意欲」は、夢に向かって自分自身の可能性を最大限にのばす「魔法の鍵」になると思います。

そして魅力ある先生との出会いもまた、子どもたちの人生に大きな影響を与えるものです。教員が教えることの専門家であると同時に学ぶことの専門家として、学ぶ楽しさや喜びを自らの姿をもって示すことが子どもたちの「学ぶ意欲」を高めることにつながります。宇陀市の教職員一人ひとりが専門性と使命感、そして何より熱い情熱をもって、子どもたちの「学ぶ意欲」を引き出してほしいと思います。そして子どもが「学校が大好き！」と実感できる取組が推進されますことを期待すると同時に、市民のみならずの各家庭・各地域でのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

# 大宇陀小学校

人間性豊かなたくましく生きる子の育成  
いきいき活動する大宇陀っ子の育成をめざして

## 身も心も「賢い子」を育てる

「はい」「いいえ」の返事や、「おはようございます」「ありがとう」のあいさつがしっかりできる子。自分にできることは自分でやり、友達や家族など周りの人に優しくできる子。みんなと共に前に進もうとする子。そんな身も心も「賢い子」を育てたいと考えています。

## どの子にも「分かる・できる」学習を

ユニバーサルデザインの考え方を基に、どの子にも「分かる・できる」学習をめざしています。昨年からは、体育科を中心に指導法改善の実践研究を始めました。本校の取組の一端を、6月9日（金）の奈良県小学校体育研究会の会場校として、授業公開します。



体育科の授業研究

## 「ふるさと大宇陀」を学習材に

かつての4つの小学校が統合されてできた新しい大宇陀小学校。郷土を誇りに思い、郷土を愛する子を育てたいと思います。幸い、校区内には様々な素材があります。「ふるさと大宇陀」のよさを知るために、教材化・単元化に取り組んでいきます。



交流するハンセン病療養施設・邑久光明園からいただいた鯉のぼりをバックに



町並みの絵（児童作品）

児童数：235名  
開校：平成22年

住所：大宇陀西山72番地の2  
URL：<http://www.ouda-e.ed.city.uda.nara.jp/>

# 菟田野小学校

豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子どもの育成  
つどうみんなが「うきうき」「たのしく」「のびのび」できる学校をめざして

## 「学校林」で森林環境教育。「古墳」もすぐ隣に

学校の敷地の北側には副葬品として画文帯神獸鏡や鉄剣・勾玉などが出土した4世紀末から5世紀初めのものとされている「古宮谷一号墳」があり、東側には「学校林」が、西側には竹林がある県下でも珍しい教育環境を持つ学校です。「学校林」では、地域の方の協力を得て、子どもたちが間伐材の皮むきを体験するなど、森林環境教育にも取り組んでいます。間伐材は薪にして、国立曽爾青少年自然の家での活動などに活用しています。



森林環境教育



竹で遊具作り

## 大学生といっしょに

昨年、天理大学のアメリカンフットボール部のみなさんに「フラッグフットボール」を教えてください、同じく天理大学国際交流派遣事業プロジェクトの「ネパールとの国際交流」の活動にも協力させていただいたりして、大学生のみなさんとの交流を進めています。

子どもたちは学生さんとアメフトの作戦会議をしたり、いっしょに竹で楽器や遊具を作ったりできて、わくわくする新しい世界との出会いを満喫することができました。今後はさらに交流の輪を広げていきたいと考えています。



大学生と一緒にフラッグフットボール

児童数：148名  
開校：平成18年

住所：菟田野古市場672番地  
URL：<http://www.utano-e.ed.city.uda.nara.jp/>

# 榛原小学校

合い言葉（目指す児童像）

いきいき こつこつ にこにこ

## なかまと協力し、進んで学ぶ子（いきいき）

どの子どもも学びやすく楽しい学校を目指し、ユニバーサルデザインの授業づくりに取り組んできました。どのような教え方が多くの子どもたちの「わかった・できた」につながるのかを研究し、子どもたち一人ひとりのニーズに応えることができるよう努めています。授業の中では、タブレットパソコンや大型モニターなどのICT機器を活用し、子どもたち一人ひとりがいきいきと学ぶ姿が見られます。



授業（いきいき）

## 仕事や勉強をやりぬく子（こつこつ）

係の仕事や勉強をこつこつと最後まで頑張る子どもがたくさんいます。高学年は、図書、保健、運動など10種類の委員会に分かれて仕事を受け持ちます。その中の一つである親善委員会は、青少年赤十字の活動として、毎朝の旗あげや募金、友情年賀葉書などを行っています。



親善委員会（こつこつ）

## 笑顔であいさつし、つながりを広げる子（にこにこ）

運営委員会を中心に、先生方も加わり、朝のあいさつ運動を行っています。今では、どの子どもも朝から元気いっぱいのあいさつができるようになり、学校中に「おはようございます」の声が響きます。これからは、朝だけでなく、また、学校の中だけでないあいさつの輪を広げ、日本一あいさつのできる学校を目指します。



あいさつ運動（にこにこ）

児童数：303名  
開校：明治7年

住所：榛原萩原 2145 番地  
URL：<http://www.haibara-e.ed.city.uda.nara.jp/>

# 榛原東小学校

未来を築く

広い心で高め合う 強い心で学び合う



スポーツタイム

## 綴る ―生活を見つめる―

「生活を見つめ、綴ることのできる児童の育成」と研究主題を設定し、取り組んでいます。子どもたちは、「何を一番書きたいのか」を考え、「主題」を意識しながら綴ることができるようになり、できあがった作品を学級通信や一枚文集に載せ、読み合い、意見を交流しています。綴ることを通して子ども同士の生活や体験をつなげ、お互いの理解を深めていきます。

## 鍛える ―スポーツタイム―

毎週金曜日の朝は、全校生で運動に取り組む時間です。6年生が中心となって運動のメニューを考え、たてわり班で活動しています。1年生から6年生まで楽しく活動しながら体を動かす習慣が付いてきました。

3学期に実施している体育集会では、運動委員が企画・運営をし、ここ数年「なわとび」に取り組んでいます。体育の授業ではもちろん、休み時間にも子どもたちが自主的に練習し、年々記録を伸ばしてきています。



幼稚園との交流

## つながる ―幼稚園との交流―

幼稚園児が小学校の運動場で遊んだり、授業の様子を見学したり、1年生が幼稚園を訪れて小学校の生活を紹介したりしています。様々な交流の機会を通して、入学する子どもたちが小学校生活に早くなじんでいけるよう、取り組んでいます。

児童数：284名  
開校：平成18年

住所：榛原赤瀬 190 番地  
URL：<http://www.haibarae-e.ed.city.uda.nara.jp/>

# 榛原西小学校

西小4つの約束

①あいさつをしよう ②時間を守ろう ③話を最後まで聞こう ④はきものをそろえよう

元気にあいさつ！今日も一日がんばるぞ！

毎朝玄関前で、先生方や運営委員の子どもたちが大きな声であいさつをして全校生を迎えています。登校した子どもたちは、にこにこ笑顔であいさつを交わします。学校だけでなく、地域にもあいさつ運動を広めようと、子どもたちが考えたあいさつ標語をのぼりにして、校区のあちらこちらに立ててもらっています。あいさつの輪が、校区全体に広がってほしいです。



アイガモ農法(5年生)

## 地域に支えられた体験学習 「アイガモ農法」「わたの栽培」

地域の方の協力で、毎年5年生の子どもたちが「アイガモ農法」を体験しています。田植えのあと、アイガモの赤ちゃんを放し、毎朝えさをあげるお世話もします。収穫した「アイガモ米」は、みんなで料理していただきますが、被災地の学校にも送っています。1・2年生では、「わた」の栽培から収穫、糸つむぎまでを教えていただいています。



「わた」から「糸」へ(1・2年生)

児童数：101名  
開校：平成18年

住所：榛原下井足1061番地  
URL：<http://www.haibaraw-e.ed.city.uda.nara.jp/>

# 室生小学校

かしこく やさしく たくましく

「思いやりのある心で、なかまと力を合わせる子」の育成をめざして

芝生の運動場で思いっきり遊ぶ！

昨年7月にPTAの方々の協力を得て、芝生の苗を植え、校庭を芝生化しました。芝生化することによって、子どもたちのケガが少なくなる、砂埃が上がらないということだけでなく、緑の芝生の上で友だちと一緒に虫を見つけたり、給食を食べたり、ごろごろと寝転んだり心教育に大きく役立っています。



緑の芝生で運動会

がんばっています！「あいさつ運動」

毎朝、通学路や学校中のあちらこちらから「おはよう」「おはようございます」と、とても元気の良いあいさつが聞こえてきます。

今、学校では「あいさつ運動」の取組を行っています。最初は、小さな声で、しかも声をかけられてからあいさつをしていた子どもたちも、今では先生方や友達の姿を見つければ、自分から大きな声で、またしっかりと相手の目を見てあいさつができるようになってきました。



あいさつ運動実施中

1年生から6年生まで、話し合いを重視した授業づくり

「良好な人間関係」を築くことは、大きな課題の一つです。相手に自分の立場や考えを伝える力、どんな意見であれ、まずは受け止め、相手の心情を思いながら伝え合う力は、良好な人間関係を築き楽しい日常生活を送るためには大切です。「話し合い」の中で友達と聞き合い、支え合いながら学ぶことによって、わからなかったことがわかるようになる授業で、一人ひとり大活躍しています。

児童数：142名  
開校：平成28年

住所：室生大野1912番地  
URL：<http://www.murou-e.ed.city.uda.nara.jp/>

# 大宇陀中学校

夢を持ち 互いに認め合い 協力し合う生徒の育成  
「いきいき」と活気のある学校「にこにこ」と温もりのある学校「こつこつ」と努力する学校

## プレゼンテーション能力の育成

学校行事や学年での活動の様子や成果を、学習後にパワーポイントや情報機器を活用し、全校や学年で発表会を行うことで、プレゼンテーション能力の育成を図っています。1年生…人権教育調べ学習（在日外国人問題）発表会、2年生…ときめきワーク（職場体験）発表会、3年生…修学旅行（平和学習）発表会



修学旅行発表会

## 地域と連携した教育活動

各学年の取組として、地域の方に協力いただき、交流もふくめ特色ある活動を行っています。1年生では、高齢者とふれあう機会として特別養護老人ホーム、ラガールを訪問しています。2年生では、地域の呉服屋さんに指導していただき、着付け教室を実施しています。3年生では、南宇陀消防署の方に協力いただき、救急救命講習会を行っています。



着付け教室

## 街並みガイド学生ボランティア活動

中学校の近くには、重要伝統的建造物群保存地区宇陀松山があり、観光ガイドボランティア活動が活発に行われています。そのような地域の特色を生かす取組として、宇陀市観光ボランティアガイドの会みなさんに指導していただき、ふるさとの歴史や文化を学び他者に伝えられる生徒を育てることを目指し、中学生による街並みガイド学生ボランティア活動を行っています。



街並みガイド学生ボランティア

生徒数：125名  
開校：昭和22年

住所：大宇陀拾生 651 番地  
URL：<http://www.ouda-jh.ed.city.uda.nara.jp/>

# 菟田野中学校

自らの成長を実感できる学校  
友情・連帯

## 七夕集会

7月7日、地域在住の障がい者の人たちを学校に招待し、交流会を行っています。各学級から実行委員を募り、その生徒たちが中心となって運営しています。七夕集会を通して、学んだことを生活に活かしていくことを主なねらいとしています。



七夕集会



チャレンジ43

## 3年に1度のチャレンジ43

午後5時、歩行開始！ 昨年10月、3年に1度のチャレンジ43が奈良公園をスタート地点として行われました。最初は、楽しくしゃべりながらの歩行でした。中盤以降は会話も少なくなり、やがて、ひたすら学校を目指して歩くだけでした。自分の弱さを痛感し、仲間の声に励まされ、そして、多くの人に支えられました。ボランティアや保護者の方たちの協力に感謝し、自信をつけたチャレンジ43でした。

## 先達に学ぶ「生き方学習会」

1・2学期に、本校OBや地域の人たちから話を聞く「生き方学習会」を開催しています。「学習会」を通して、自分自身の生き方を見つめることをねらいとしています。中学校の時だけでなく、次のステージ（高校、就職先等）でもそれらが活かされることを願っています。



生き方学習会

生徒数：89名  
開校：昭和33年

住所：菟田野古市場 1220 番地  
URL：<http://www.utano-jh.ed.city.uda.nara.jp/>

# 榛原中学校

花いっぱい やさしさいっぱい 夢いっぱいの学校  
**夢を持ち、未来への可能性を創造していく生徒の育成**

草にも木にもいい事をしよう。人にも自分にもいい事をしよう。

本校に永く受け継がれている「合い言葉」です。この言葉を「合い言葉」として使われたのは、当時校長をされていた亀岡作雄氏で、玄関に書が飾られています。また、昭和53年に設置された石碑が現在は玄関の真向かいに据えられています。

自然愛護と自他敬愛の意味があり、この言葉を念頭に学校生活を営もうということです。とても優しい言葉で、心が温まる想いがしますが、合い言葉を目にする、「あなたはどうか？」と言われていたようで、その度に自分を律しています。

## 夢の実現に向け、頑張る榛中生を応援しています

目標や夢を持つと、「明日はこんなことをしよう。あんなこともやってみよう。」と毎日が生き生きとします。毎日が楽しくなります。勉強や部活、習い事に一生懸命に取り組んでいる榛中生はたくさんいます。頑張った事実、努力した事実は消えません。その積み重ねが自信につながります。先生方は



▲合い言葉の石碑

◀校舎には応援の横断幕

生徒数：382名  
 開校：昭和22年開校

住所：榛原福地 761 番地  
 URL：<http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/>

# 室生中学校

自ら学び、心豊かで、たくましい生徒の育成  
**さきにあいさつ 思いは行動へ**

## 一日のスタートはあいさつから

生徒会の役員と各学級の級長部が中心となって、毎朝校門前で「あいさつ運動」を続けています。学校の実践スローガンである「さきにあいさつ 思いは行動へ」とも重ね、「おはようございます」からはじまる学校生活を大切にしているところです。「あいさつ」からはじまるなかまのつながりが大きくひろがってほしいと思います。



あいさつ運動

## 伝統を胸に つなげ明日へ！ はばたけ室生中！

これは、今年度新校舎創立50周年を迎える我が校の合い言葉です。現在、生徒会および50周年実行委員会が中心となり、この節目の年の記念事業を進めています。この記念事業実施にあたっては、地域からの支援をいただくだけでなく、20年前の卒業生が「SEE YOU AFTER 20 YEARS」を合い言葉に、校舎に埋めたタイムカプセルを掘り起こすために母校に集います。そして、タイムカプセルとの再会を通して、卒業生が在校生に対してメッセージを託してくれます。学校は本来「学ぶ」場所ですが、このような支援や取組から、人と人をつなぐ場所であることを改めて教えられます。生徒たちは、50年の伝統の重みを感じ、未来にバトンタッチすべくこの節目の年を生きています。地域のみなさんもこの節目をともに祝っていただきますよう、よろしくお願いいたします。



「SEE YOU AFTER 20 YEARS」のモニュメント

8月20日(日)  
 タイムカプセル開封事業  
 10月27日(金)  
 新校舎創立50周年記念式典  
 「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」により文化芸術鑑賞を行います。

生徒数：91名  
 開校：昭和40年開校

住所：室生大野 1962 番地  
 URL：<http://www.murou-jh.ed.city.uda.nara.jp/>